

令和5年度 第1学年 国語科 シラバス

教科目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
 - (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したり力をする養い、日乗生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。
 - (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書し、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日乗生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使用している。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	1 学びをひらく 「野原はうたう」【2】 「シンシュン」【4】 [聞く]「情報を的確に聞き取る」【2】 「季節のしおり 春」	① ・音声の働きや仕組みについて、理解を深める。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深める。 ・言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート (現代・文法/ 2段目・3段目) 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト
5	[書く]「情報を整理して書こう」【2】 「情報整理のレッスン 比較・分類」【2】 「漢字1 漢字の組み立てと部首」 「漢字に親しもう」【1】	② ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基にとらえる。 ・日常や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する。	
		③ ・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、音読して声を届け、記録をとる。 ・場面の展開について、描写を基に積極的にとらえ、学習課題に沿って、感想を交流する。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字の読み書きを行う。	
6	2 新しい視点で 「大根は大きな根？」【5】 「ちょっと立ち止まって」【5】	① ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深める。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。	音読・朗読 発言内容

	「思考のレッスン1 意見と根拠」 【1】 「話の構成を工夫しよう」 【4】 「漢字に親しもう2」 【1】 「文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう」 【3】	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。また、読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。 ・単語の類別について理解する。 ② ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基にとらえ、要旨を把握する。 ・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討し、話の構成を考える。 ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 ③ ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。	漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート （現代・文法/ 2段目・3段目） 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト
7	・情報社会を生きる 「情報を集めよう/情報を読み取ろう/情報を引用しよう」 【4】	① ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出展の示し方について理解を深める。 ② ・目的や意図に応じて、題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。また、必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する。 ③ ・引用の仕方や出典の示し方について積極的に理解を深める。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート （現代・文法/ 2段目・3段目） 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト
9	<u>3 言葉に立ち止まる</u> 「詩の世界」 「比喩で広がる言葉の世界」 【4】 「言葉を集めよう」 【2】 「言葉1 指示する語句と接続する語句」 【2】	① ・事象や行為、心情を表す語句を増やすとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・表現技法を理解している。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ② ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。 ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見の関係などについて叙述を基に捉える。 ③ ・詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、詩を創作しようとしている。 ・積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート （現代・文法/ 2段目・3段目） 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト
	・読書生活を豊かに 「読書を楽しむ」 【2】	① ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書	音読・朗読 発言内容

	「本の中の中学生」 「読書コラム 本との出会い」 「読書案内 本の世界を広げよう」 【2】 「季節のしおり 夏」	に生かす。 ② ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート (現代・文法/ 2段目・3段目) 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト
10	4 心の動き 「大人になれなかった弟たちに」 【5】 「星の花が降るころに」 【4】 「聞き上手になろう 質問で話を引き出す」 【1】 「項目を立てて書こう」 【3】 [推敲]読み手の立場に立つ 「言葉2 方言と共通語」 【1】 「漢字2 漢字の音訓」 【1】	① ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・事象や行為、心情などを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・共通語と方言の果たす役割について理解する。 ・漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短文を作成する。 ② ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基にとらえる。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容をとらえる。 ・必要に応じて記録や質問を行い、話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめる。 ・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 ③ ・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、見通しを持って朗読しようとしている。 ・進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、話を引き出そうとしている。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート (現代・文法/ 2段目・3段目) 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト
11	5 筋道を立てて 『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ 【5】 「思考のレッスン2 原因と結果」 【1】 「根拠を示して説明する」 【4】 「漢字に親しもう4」 【1】 [話し合い]話し合いの展開を捉える 【2】 「話題や展開を捉えて話し合おう」	① ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの方法の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深める。 ② ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える。 ・段階の役割などを意識して文章の構成や展開を考え、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる工夫を考える。 ③ ・文章構成や展開について粘り強く考え、考えたことを文章にしてまとめようとしている。 ・文章の構成や展開を粘り強く考え、レポートをまとめようとしている。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート (現代・文法/ 2段目・3段目) 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト

	【4】 「季節のしおり 秋」		
12	6 いにしえの心にふれる 「大阿蘇」 「季節のしおり 春」 【3】 「いろは歌」 古典の世界 【1】 「竹取物語」 から 【5】 【漢文】 今に生きる言葉 【3】	① ・ 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすと共に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を知り、古文・漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ② ・ 文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にする。 ・ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉える。 ・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。また、各内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考える。 ・ 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読する。 ③ ・ 古典には様々な種類の作品があること積極的に知り、学習を生かして古文を音読する。 ・ 進んで古文を音読し、古典の世界を想像しようとしている。 ・ 積極的に漢文を音読し、故事成語を使った文章を書く。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート （現代・文法／ 2段目・3段目） 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト
1	7 価値を見い出す 「『不便』の価値を見つめ直す」 【5】 助言を自分の文章に生かそう 【2】 「文法への扉2 言葉の関係を考えよう」 【2】	① ・ 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 ・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解する。 ・ 書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解する。 ② ・ 目的に応じて、必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。 ・ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだす。 ③ ・ 積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・ 自分の文章の良い点や改善点を見だし、書評を書き、助言し合う。 ・ 単語の類別を理解するために、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解する。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート （現代・文法／ 2段目・3段目） 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト
2	・ 読書に親しむ 考える人になろう 【読書案内】 本の世界を広げよう 「季節のしおり 冬」 【1】	① ・ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ② ・ 文章を読んで、理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにしている。 ③ ・ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを情動的に理解し、考えたことを伝え合う。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート （現代・文法／ 2段目・3段目）

			授業プリント 漢字小テスト 定期テスト
3	<u>8 自分を見つめる</u> 「少年の日の思い出」 【6】 随筆二編 【3】 構成や描写を工夫して書こう 一年間の学びを振り返ろう 「さくらはなびら」 【1】 「漢字に親しもう6」 【1】 「文法への扉3 単語の性質を見 つけよう」 【4】 「言葉3 様々な表現技法」 【3】 「漢字3 漢字の成り立ち」 【2】	① ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに。語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・単語の類別について理解しようとしている。 ・漢字の成り立ちについて理解し、辞典を使って調べている。 ・音声の仕組みや働きについて、理解を深めている。また、比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の仕方について理解を深め、それらを使用している。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現技法を理解している。 ② ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 ・各内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・文章について理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 ③ ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、考えたことを伝え合う。 ・今までの学習を生かして発表しようとしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えた根拠を伝え合う。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント 教科書ワーク 授業ノート (現代・文法/ 2段目・3段目) 授業プリント 漢字小テスト 定期テスト

定期テスト範囲（予定）

1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
1、学びをひらく ～3、言葉に立ち止まる	4、心の動き ～5、筋道を立てて	6、いにしえの心にふれる ～7、価値を見いだす	8、自分を見つめる

学習上のアドバイス

授業について

- ①授学力の向上は、とにかく授業を大切にすることが一番です。教室は正解を言い合いに来る所ではありませんから、安心して積極的に発言・発表しましょう。
- ②疑問点を明らかにして授業に臨み、その疑問を解決する、という姿勢で毎時間の授業を大切にしてください。
- ①漢字学習と音読は毎日行いましょう。
- ②一人で考え、取り組む家庭学習の時間を設定することで、着実に学力は付いていきます。教わるばかりでなく、自分だけで考える家庭学習は大事な時間です。

その他

- ①日本語として使われている漢字や言葉遣い、ものの見方や考え方を学び合う教科ですから、得意不得意や好き嫌いを言わず、取り組みましょう。
- ②漢字検定を年に3回、校内で実施します。プリントや掲示でお知らせします。読書については、お薦めの良書から選択して、どんどん読みましょう。

教科目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
 - (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※【】内数字は配当時間	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	1 広がる学び 「見えないだけ」【1】 「アイスブラネット」【4】 [聞く]「問いを立てながら聞く」【1】 「季節のしおり 春」	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、使う。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字350字程度から450字程度までの漢字を読む。 また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・古文・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
5	「枕草子」【3】 [書く]「自分流『枕草子』を書こう」【1】 「情報整理のレッスン 思考の視覚化」【1】 「多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る」【5】 「漢字1 熟語の構成」「漢字に親しもう」【1】	② ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・目的や場面、意図に応じて、社会生活の中から話題や題材を集め、異なる(多様な)立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にし、伝え合う内容を検討する。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	

6	<u>2 多様な視点から</u> 「クマゼミ増加の原因を探る」【4】 「思考のレッスン1 具体と抽象」【1】 「魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする」【5】 「漢字に親しもう2」【1】 「文法への扉1 単語をどう分ける? 文法1 自立語」【2】	① ・話や文章の構成や展開について理解を深める。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報との関係について理解する。 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付く。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	・情報社会を生きる 「メディアを比べよう/メディアの情報を生かして/情報を集めよう / 「自分で考える時間」をもとう」【3】	② ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉える。 ・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。 ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。	
7		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合う。	
	<u>3 言葉と向き合う</u> 「短歌に親しむ」 [書く]短歌を作ろう 「短歌を味わう」【4】 「言葉の力」【2】 「言葉1 類義語 対義語 多義語」【2】 「言葉を比べよう もっと『伝える』を目ざして」【1】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語や対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・古文・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
		② ・観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるよう工夫する。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝える。	
	・読書生活を豊かに 「読書を楽しむ」【1】 「翻訳作品を読み比べよう」	① ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。	音読・朗読 漢字ノート、ワーク 自主ノート

9	『星の王子さま』 「読書コラム『わからない』は人生の宝物」「読書案内 本の世界を広げよう」 【1】 「季節のしおり 夏」	② ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。	ワークシート
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
	4 人間のきずな 「盆土産」 【4】 「字のない葉書」 【3】 「聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す」 【1】 「表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く」 【3】 [推敲]表現の効果を考える 【1】 「言葉2 敬語」 【1】 「漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字」「漢字に親しもう」 【1】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付く。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使う。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習)
10		② ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を理解する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。	ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
	5 論理を捉えて 「モアイは語るー地球の未来」 【4】 「思考のレッスン2 根拠の吟味」 【1】 「根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く」 【4】 「漢字に親しもう4」 【1】 [討論]異なる立場から考える 【1】 「立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する」 【4】	① ・意見と根拠、具体と抽象など情報との関係について理解する。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(現代) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
		② ・文章の構成や論理の展開について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。	

11	「音読を楽しもう『月夜の浜辺』」 【1】 「季節のしおり 秋」	③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
	6 いにしへの心を訪ねる 「源氏と平家」「音読を楽しもう『平家物語』」【1】 「扇の的一『平家物語』から」【3】 「仁和寺にある法師―『徒然草』から」【3】 [書く]人物の特徴を捉えて論じよう【1】 「漢字の風景」【3】	① ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。 ② ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈する。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(古文) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	7 価値を語る 「君は『最後の晩餐』を知っているか」「『最後の晩餐』の新しさ」【4】 「魅力を効果的に伝えよう」 「鑑賞文を書く」【2】 「漢字に親しもう5」【1】 「文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。文法2 用言の活用」【2】	① ・意見と根拠、具体と抽象など情報との関係について理解する。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、使う。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。 ② ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	・読書に親しむ 「研究の現場によこそ 日本に野生のソウやサイカいた頃 クモの糸でバイオリン」読書案	① ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ②	音読・朗読 漢字ノート、ワーク 自主ノート

2	内 本の世界を広げよう 【1】 「季節のしおり 冬」	- 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ③ - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
	8 表現を見つめる 「走れ メロス」 【6】 [書く]作品の魅力をまとめ、語り合おう 【1】 「漢字に親しもう6」 【1】 「文法への扉3 一字違いで大違い 文法3 付属語」 【2】 「構成や展開を工夫して書こう 『ある日の自分』の物語を書く」 【4】 「言葉3 話し言葉と書き言葉」 【2】 「漢字3 送り仮名」 【2】 「国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る」 【5】 「木」 【2】	① - 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語や対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 - 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。 - 話や文章の構成について理解を深める。 - 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 - 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち、350字程度から450字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。 - 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使う。 ② - 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈する。 - 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 - 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 - 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する。 - 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 - 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。 - 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 - 詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ③ - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	・振り返り 「学期を振り返ろう」 【3】 ・文法・漢字(巻末教材)	① - 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づく。 - 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使う。 - 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。	言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法)

		② - 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉える。 - 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える。 - 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 - 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 - 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 - 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 ③ - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	自主ノート (漢字・短文・その他復習予習) ワークシート
--	--	---	---

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末テスト	2 学期中間テスト	2 学期期末テスト	学年末テスト
1 広がる学びへ ～ 3 言葉と向き合う	4 人間のきずな	5 論理を捉えて ～ 6 いにしえの心を訪ねる	7 価値を語る ～ 8 表現を見つめる

学習上のアドバイス

授業について

- ①授業の始まる前に教具や宿題・課題、1日の流れ、めあてなどを確認します。授業中は鉛筆を使います。最後にいろいろな面での振り返りや質問などを出し合います。
- ②学力の向上は、とにかく授業を大切にすることが一番です。授業の中で集団で学び合いながら、力を付ける気持ちを持ちましょう。

家庭学習のアドバイス

- ①毎回の宿題として(1)漢字練習 5 分間(2)ワークの予習・復習(3)本文読みの 3 つを徹底しています。(1)(3)については声に出して集中して取り組みましょう。教材が終わるごとにワークやノート提出があります。
- ②一人で考え、取り組む家庭学習の時間を設定することで着実に学力は付いていきます。教わるばかりでなく、自分だけで考える家庭学習は大事な時間です。

その他

- ①日本語として使われている漢字や言葉遣い、ものの見方や考え方を学び合う教科ですから、苦手意識をもたず他教科や日常生活に生かす意識をもって学習しましょう。
- ②漢字検定を年に3回、校内で実施します。プリントや掲示でお知らせします。
- ③読書は「朝読書」「ビブリオバトル」などにも繋げていきます。教科書や資料集に載っている本を中心に、どんどん読んでほしいです。

教科目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。○○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※【】内数字は配当時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	<u>1 深まる学びへ</u> 「世界はうつくしいと」 【1】 「握手」 【4】 [聞く]評価しながら聞く 【1】 一季節のしおり 春一	① ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむ。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・古文・文法)
5	「学びて時に之を習ふ」『論語』から 【2】 「情報整理のレッスン 情報の信頼性」 【1】 「文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する」 【4】 「漢字1 熟語の読み方」「漢字に親しもう1」 【1】	・話や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 ② ・文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉える。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討する。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。	自主ノート (漢字・短文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト

6		・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。	
	③	・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	<u>2 視野を広げて</u> 「作られた『物語』を超えて」【3】 「思考のレッスン 具体化・抽象化」【1】 「説得力のある構成を考えよう」 「スピーチで社会に思いを届ける」 「資料 リオの伝説スピーチ」【4】 「漢字に親しもう2」【1】 「文法への扉1 すいかは幾つ? →文法1 文法を生かす」【1】	① ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 ② ・文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉える。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討する。 ・自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート （現代・文法） 自主ノート （漢字・短文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
7	<u>情報社会を生きる</u> 「実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう」【3】	① ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 ② ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート（現代） 自主ノート （漢字・短文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	<u>3 言葉とともに</u> 「俳句の可能性」[書く]俳句を作って楽しもう【3】 「俳句を味わう」【1】 「言葉を選ぼう もっと『伝わる』」	① ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・話や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート （古文・文法）

9	を目標して」 【1】 「言葉 1 和語・漢語・外来語」 【1】	② - 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。 - 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫する。 - 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ③ - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	自主ノート (漢字・短文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	<u>読書生活を豊かに</u> 「読書を楽しむ」 【1】 『私の一冊』を探しにこう 『羊と鋼の森』「読書案内 本の世界を広げよう」「読書コラム ためになるってどんなこと？」 【1】 一季節のしおり 夏一	① - 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 ② - 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ③ - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	自主ノート (漢字・短文・その他復習予習) ワークシート
	4 状況の中で 「挨拶一原爆の写真によせて」 【2】 「故郷」 【5】 「聞き上手になろう」「質問で相手の思いに迫る」 【1】 「推敲」論理の展開を整える 【1】 「言葉 2 慣用句・ことわざ・故事成語」 【1】 「漢字 2 漢字の造語力」「漢字に親しもう 3」 【1】	① - 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 - 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 - 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う。 - 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 - 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 ② - 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 - 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 - 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 - 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。 - 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を考える。 ③ - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト

1 1	<u>5 自らの考えを</u> 「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」 【3】 「多角的に分析して書こう」「説得力のある批評文を書く」 【4】 「漢字に親しもう 4」 【1】 「議論話し合いを効果的に進める」 「合意形成に向けて話し合おう」 「課題解決のために会議を開く」 【4】 「音読を親しもう『初恋』 【1】 一季節のしおり 秋一	① - 情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 - 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 - 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 - 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ② - 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 - 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 - 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。 - 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫する。 - 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりする。 - 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ③ - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・古文・文法) 自主ノート (漢字・短文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	<u>6 いにしへの心を受け継ぐ</u> 「和歌の世界」「音読を楽しもう 『古今和歌集』仮名序 【1】 「君待つとー『万葉』『古今』『新古今』」 【2】 「夏草ー『おくのほそ道』から【4】 【書く】古典の言葉を引用し、メッセージを送ろう」「古典名句・名言集」 【1】	① - 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむ。 - 長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使う。 ② - 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 - 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。 - 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ③ - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (古文) 自主ノート (漢字・短文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
1 2	<u>7 価値を生み出す</u> 「誰かの代わりに」 【3】 「情報を読み取って文章を書こう」「グラフを基に小論文を書く」 【2】	① - 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 - 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 - 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示され	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート

1	「漢字3 漢字のまとめ」「漢字に親しもう5」 【1】 「文法への扉 2 『ない』の違いがわからない?→文法 2 文法のまとめ 【1】	ている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。	(漢字・短作文・その他復習予習) 漢字小テスト 定期テスト
		② ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ・論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	<u>読書に親しむ</u> 「本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース/紛争地の看護師」「読書案内 本の世界を広げよう」 【1】 一季節のしおり 冬一	① ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。	漢字ノート、ワーク 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習)
		② ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	2 <u>8 未来へ向かって</u> 「温かいスープ」 【3】 「わたしを束ねないで」 【2】 「三年間のあゆみを振り返ろう」 「冊子にまとめて、発表会をする」 【6】 「漢字に親しもう6」 【1】	① ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(現代) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
		② ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
3	<u>振り返り</u> 「学習を振り返ろう」 【3】	① ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。	発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(現代)

		・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。	自主ノート (漢字・短文・その他復習予習)
		② ・自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 ・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 ・表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫する。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
巻末教材	<u>文法・漢字</u> 「文法 一、二年生の復習」 「文法 1 文法を生かす」 「文法 2 文法のまとめ」 「小学校六年生で学習した漢字一覧」	① ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。	授業ノート 自主ノート

定期テスト範囲（予定）

1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
1 広がる学びへ ～ 3 言葉と向き合う	3 言葉と向き合う ～ 4 人間のきずな	5 論理を捉えて ～ 6 いにしえの心を訪ねる	7 価値を語る ～ 8 表現を見つめる

学習上のアドバイス

授業について

- ① 学力の向上は、とにかく授業を大切にすることが一番です。授業は正解を言い合いに来る所ではありませんから、安心して積極的に発言・発表しましょう。
- ② 疑問点を明らかにして授業に臨み、その疑問を解決する、という姿勢で毎授業を大切にしてください。いつでも質問に応じます。
- ③ 受験とは、その延長上にあるものです。「集団で学ぶことは個人のそれに勝る」と信じて、一緒にがんばっていきましょう。

家庭学習のアドバイス

- ① 漢字学習と音読は、毎日取り組みましょう。
- ② 毎日やるべきことを自分で「決める」ことが大切です。受験の一側面で右往左往するのではなく、済ませることと挑戦することに分けて積極的・継続的に取り組みましょう。

その他

- ① 日本語として使われている漢字や言葉遣い、ものの見方や考え方を学び合う教科ですから、得意不得意や好き嫌いを言わず、3月までがんばってください。
- ② 漢字検定を校内で実施しますので、廊下に掲示してお知らせします。読書については良書や難しい文章を選択し、速読することを習慣にするとよいです。

教科目標

文字を書くことに関する知識・技能を、各教科や社会生活における言語生活に役立てる。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
- 字形を整え、文字の大きさ・配列について理解し、楷書で書くことができる。 - 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くことができる。		楷書と行書の特徴を理解し、それらを生かして書こうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	漢字を分類してみよう	①点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。 点画の種類を確かめ、漢字の筆遣いに注意して書いている。	作品内容 授業観察
5	漢字の筆遣い 【3】	②穂先の向きや筆圧などを確かめている。 漢字の筆遣いを確かめている。 ③進んで穂先の向きや筆などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。 進んで漢字の筆遣いに注意し、学習課題に沿って書こうとしている。	
6	楷書に調和する仮名 【3】	①楷書に調和する仮名の筆遣いや字形に注意して、整えて書いている。 ②楷書に調和する仮名の筆遣いに注意し、書こうとしている。 ③進んで穂先の向きや筆などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。	作品内容 授業観察
	文字の大きさと配列 【3】	①文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。 ②取り組む中で、文字の大きさ、配列などを確かめている。 ③進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考えながら書こうとしている。	作品内容 授業観察
7	文字の歴史を探る 【1】	①漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。 ②おおまかな歴史を確かめている。 ③積極的に文字の歴史について知ろうとしている。	作品内容 授業観察
	目標を書こう 【1】	①②今まで学習した知識・技能を生かして書いている。 ③進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして目標を書こうとしている。	作品内容 授業観察

9	速さを比べてみよう	①漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。 ②書き比べる活動の中で、両者の形の違いを確かめている。 ③積極的に速く書いた時の文字の特徴を捉え、学習の見通しをもって行書を学ぶ意義について話し合う。	作品内容 授業観察
10	行書の特徴 【2】	①漢字の行書の特徴を理解している。 ②行書の特徴を確かめながら書いている。 ③積極的に楷書と行書の違いを考え、行書の特徴を話し合う。	
	丸み・点画の連続 【2】	①漢字の行書の基礎的な書き方を理解し、身近な文字を書いている。 ②行書の特徴（丸み・連続）を確かめている。 ③進んで行書の書き方を理解し、書こうとしている。	作品内容 授業観察
11 12	点画の変化 【3】	①漢字の行書の基礎的な書き方を理解し、身近な文字を書いている。 ②行書の特徴（点画の変化）を確かめている。 ③進んで行書の書き方を理解し、書こうとしている。	作品内容 授業観察
1 2 3	<u>季節のしおり</u> 【2】	①今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 ②今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 ③積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。	作品内容 授業観察

書写の定期テストはありません。

学習上のアドバイス

授業について

- ① 目標をよく理解し、それを達成できるように、意識しましょう。
- ② 一画、一画を丁寧に書く習慣を身に付けましょう。

家庭学習のアドバイス

- ① 授業で学習した内容を、日常に生かして、文字を書きましょう。

その他

- ① 文字を書くという、日本語の基本を学びます。書写の時間だけにとどめず、日々の言語生活に生かしましょう。
1学期は硬筆を学び、2・3学期は毛筆を中心に学習します。

教科目標

文字を書くことに関する知識・技能を、各教科や社会生活における言語生活に役立てる。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
- 行書と仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。 - 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。		楷書と行書の特徴を理解し、読みやすい字で、速く書こうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4 5	点画の省略 【3】	①漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 ②行書の書き方（点画の省略）を確かめている。 ③進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	作品内容 授業観察
6	筆順の変化 【3】	①漢字の行書の書き方を理解し、読みやすく書いている。 ②行書の書き方を確かめている。 ③進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	作品内容 授業観察
7	行書に調和する仮名 【3】	①行書に調和した仮名の書き方を理解し、読みやすく速く書いている。 ②行書に調和した仮名の書き方を確かめている。 ③進んで行書に調和した仮名の書き方を理解しながら、書こうとしている。	作品内容 授業観察
9	行書と仮名の調和 【3】	①漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し、読みやすく速く書いている。 ②行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。 ③進んで行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し、書こうとしている。	作品内容 授業観察
10	行書を活用しよう 壁新聞を作ろう 【3】	①漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 ②今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 ③進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして書こうとしている。	作品内容 授業観察

1 1	デザインと文字を考えよう 【1】	①目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解している。 ②目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を確かめている。 ③進んでテレビ番組のタイトル文字を選び、印象や文字を選んだ理由を考えようとしている。	作品内容 授業観察
	楷書と行書の使い分け 【2】	①目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。 ②目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。 ③進んで書体を選択して書く必要を理解し、適切な書体を選んで書こうとしている。	作品内容 授業観察
1 2	物語を千年書き継ぐ 【1】	①文字の役割について理解している。 ②文字の役割について考えている。 ③文字の役割について話し合おうとしている。	作品内容 授業観察
1 2 3	季節のしおり2 【1】	①今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 ②今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 ③積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。	作品内容 授業観察

書写の定期テストはありません。

学習上のアドバイス

授業について	①目標をよく理解し、それを達成できるように、意識しましょう。 ②文字を見やすく、速く書く習慣を身に付けましょう。
家庭学習のアドバイス	①授業で学習した内容を、日常に生かして、文字を書きましょう。
その他	①文字を書くという、日本語の基本を学びます。書写の時間だけにとどめず、日々の言語生活に生かしましょう。 ②1学期は硬筆を学び、2・3学期は毛筆を中心に学習します。

教科目標

- (1) 正しく文字を書く知識・技能を伸ばし、毛筆の学習をすることで硬筆で書く豊かな活動につなげる。
 (2) すべての書写内容を無理なく、効率的にすすめ、喜びや達成感を感じられるような活動を行う。
 (3) 書写で培った力が、国語科をはじめとする各教科の学習場面や学校・社会生活で生かす。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
1、2年生で学習した知識・技能を生かして、さまざまな字体を身に付けて書く。	今までに学習したことを考え、目的に応じて、毛筆や硬筆の両面の特徴、さまざまな書体を区別して書く。	3年間で習得したことを振り返り、楽しみながら積極的に生かしていく。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	文字を使い分ける 1 全国マップ 硬筆・毛筆【2】	①身の回りには文字による多様な表現があることを理解する。	授業観察 作品
5		②身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。	
		③積極的に身の回りの文字を探し、学習の見通しをもって見付けた文字による多様な表現について発表しようとしている。	
6	2 文字の使い分け 硬筆・毛筆【1】	①身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。	授業観察 作品
7		②目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解する。	
		③積極的に明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し、学習課題に沿って調べた身の回りの文字について発表しようとする。	
8	3 [コラム]UD書体って何だろう 硬筆・毛筆【1】	①見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザイン書体を知り、文字文化の豊かさへの理解を深める。	授業観察 作品
		②ユニバーサルデザイン書体の使用例やゴシック体との比較を通して、文字文化の豊かさ確かめる。	
		③積極的に身近なユニバーサルデザイン書体の使用例を探し、学習の見通しをもって見付けた文字について理解しようとしている。	
9	4 3年間のまとめ 毛筆【2】	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②毛筆で「探求」「輝ける未来」を書写するなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考える。	
		③積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分で決めた課題に沿って「探求」「輝ける未来」を書こうとする。	

10 11	5 私の好きな言葉 硬筆・毛筆【2】	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②好きな言葉を書くなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考える。	
		③積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分の好きな言葉を書こうとする。	
12	6 〔国語〕季節のしおり3 硬筆【1】	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②季節の言葉をなぞる活動のなかで今までに学習した知識・技能を生かし方を考える。	
		③積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習をなぞろうとする。	
1 2	7 〔国語〕冊子にまとめよう 適宜	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考える。	
		③積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして学校や部活動の魅力を伝える冊子を作る。	
3	8 〔発展〕なりきり、書聖・王羲之 適宜	①高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解する。	授業観察 作品
		②「蘭亭序」をなぞる活動のなかで、これまでに学習してきた書き方との共通点や相違点について考える。	
		③積極的に先人の筆跡に関心を持ち、学習の見通しをもって「蘭亭序」をなぞろうとする。	

定期テスト範囲（予定）（書写なし・・・テストの書体を評価する）

学習上のアドバイス

授業について

③ 1・2年生の学習を生かし、文字を書きましょう。

家庭学習のアドバイス

② 授業で学習した内容を、日常に生かして、文字を書きましょう。

その他

② 文字を書くという、日本語の基本を学びます。書写の時間だけにとどめず、日々の言語生活に生かしましょう。

② 1学期は硬筆を学び、2・3学期は毛筆を中心に学習します。